インド、特許局の新ビルディング落成に併せ種々の取組を開始

2014 年 9 月 9 日
JETRO ニューデリー

9 月 8 日、インド政府は、インド特許局デリー支局の新ビルディング落成式を行った。新ビルディングには、PCT 国際調査/国際予備審査のための施設の他、4 つある技術分野別グループのうち、電気・電子グループ及びバイオテクノロジーグループが移動する。

また、同落成式に合わせ、以下の取組が開始・公表された。

・ 特許局で係属中の特許出願の詳細について、手続段階別に表示するシステム(Stocks & Flows of Patents Applications)の運用開始。

同システムでは、公開待ち、審査官への割当待ち、審査待ち、審査管理官による承認待ち、審査管理官による最終処分待ち、存続特許という各手続段階において、検索時点での処理待ち（ストック）件数をオフィス別に表示することができる。また、出願番号等の詳細のリストについても、オフィス別に表示することができる。また、期間を指定することで、当該期間の間に所定段階に移管された案件、次の段階に移管された案件(フロー)についても、総数をオフィス別に表示できるようになっている。本システムは、これまで商標について実施していたものを特許に拡張したもの。

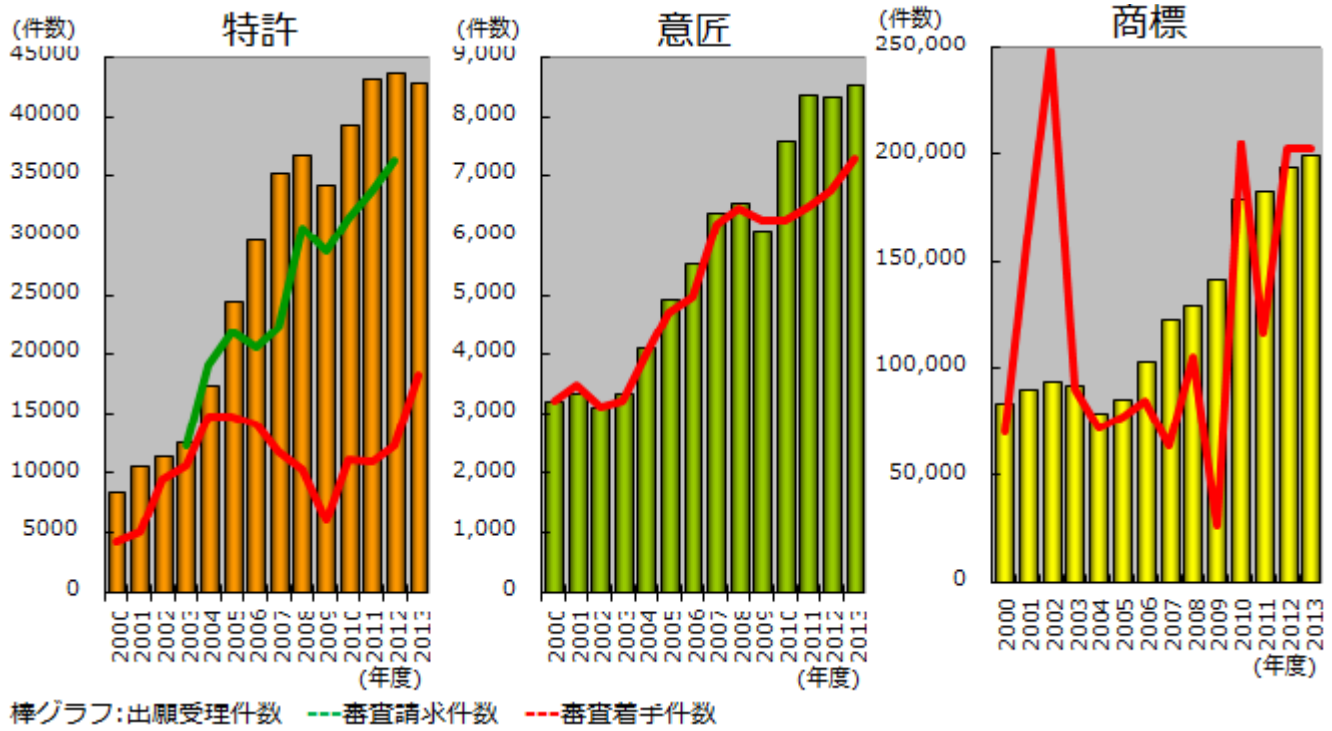
・特許及び商標についてインターネット上から手数料を納付できるシステムの運用開始。

・ ”IP Expressions”と題した年 2 回の定期刊行物の発行を開始。
同誌では、インド特許意匠商標総局の幹部職員による論文が掲載されている。

・ 第 12 期 5 ヵ年計画(2012 年-2017 年)により、特許局 666 名、商標局 367 名の定員増を確保。

・特許・意匠・商標・GI について、出願受理件数、審査・登録件数等の発表。

なお、特許出願受理件数は、前年比 1.7%の微減となったが、インド国内からの出願が 25.50%と増加し、前年比約 1000 件増の約 11000 となっている。



（今浦　陽恵）

本内容は、日本貿易振興機構が 2014 年 9 月現在入手している情報に基づくものであり、その後の法律改正等によって変わる場合があります。また、掲載した情報・コメントは著者及び当機構の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこの通りであることを保証するものではないことをあらかじめお断りします。

Copyright©2014 JETRO All rights reserved. 禁無断転載